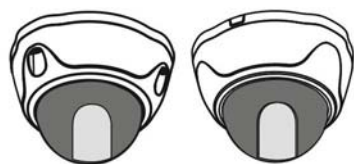


ネットワークカメラ

便利なユーザーマニュアル



ご使用になる前に

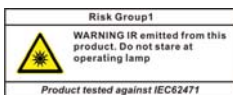
本便利なは、ネットワークカメラのインストールおよび運営のための基本説明書です。本装置を初めてご使用になる使用者を初め、以前多くの類似装置を使用していた使用者の方でも、必ずご使用になる前に本便利なをお読みになり注意事項をご確認の上、製品を使用することをお勧め致します。安全上の警告および注意事項は、製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管して下さい。

- 本便利なを無断で複製できません。
- 本製品には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。そのソフトウェアのソースコードをご希望の方には提供できます。詳しい内容はソフトウェアCDに(OpenSourceGuide/OpenSourceGuide.pdf)または取引説明書と一緒に提供されるオープンソースガイドを確認してください。
- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、またはユーザーマニュアルの使用方法を従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負わないのでご注意ください。
- ネットワークカメラを初めてご使用になるか、使い方がよく分からない使用者は、設置或使用する途中に必ず購入先までお問い合わせ頂き、専門技術者のサポートを受けて下さい。
- システムの機能拡張および故障修繕のためにシステムを分解する場合は、必ず購入先までお問い合わせ頂き、専門家のサポートを受けなければなりません。

安全上の注意事項

安全および製品の故障を防ぐため、本装置をご使用になる前に下記の内容を必ず熟知した後お使いください。製品を正しく使うことで使用者の安全を保護し、財産上の損害などを防止するための内容であるため、必ずお読みになった上正しくお使い下さい。

- 製品を運搬、または設置する時に衝撃を与えないでください。
- 振動や衝撃がある所に設置しないでください。故障の原因となります。
- 製品の動作中には、製品を動かしたり移動しないでください。
- 清掃をする時は電源を切った後、必ず乾いた布で拭いてください。
- 電源コード部を引っ張って抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。破損した電源コードを使うと、火災および感電につながる恐れがあります。
- 本装置内部の一部は感電する恐れがあるため、カバーを開けしないでください。
- 壁や天井などに設置する際は、安全にしっかりと固定し、適正温度を保持してください。空気が循環しない密閉された空間に設置すると、火災の原因となります。
- 故障および感電の恐れがある温度変化が激しい所や湿気が多い所を避け、接地されていない電源コード及び電源拡張ケーブル、被覆がむけた電源コードを使わないで下さい。
- 雷の発生が多い地域は雷保護装置のご使用をおすすめします。
- 本装置から異様な匂いがしたり煙が出たら、直ちに電源を切って購入先まで連絡してください。

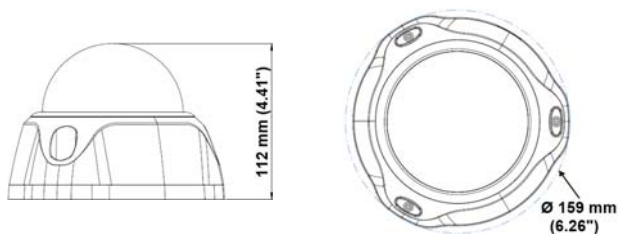


警告: 本製品では赤外線が放出されます。IR LEDを直接見ないでください。

製品構成

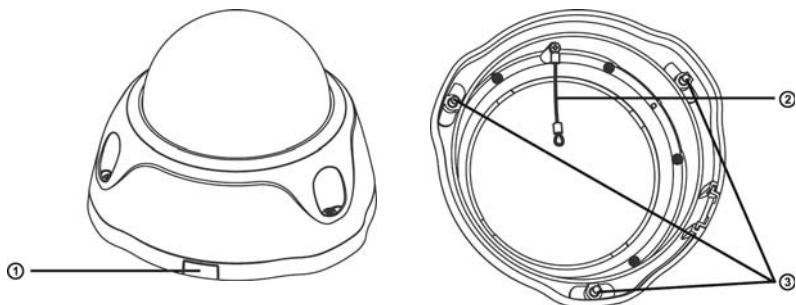
- ネットワークカメラ本体
- ソフトウェアCD(INIT/INEX Basicソフトウェアおよびユーザーマニュアル)
- 便利なユーザーマニュアル
- 設置用取り付け金具

寸法



名称及び機能

半月ドームモデル



ドームカバー

ドームカバー – 下段部分

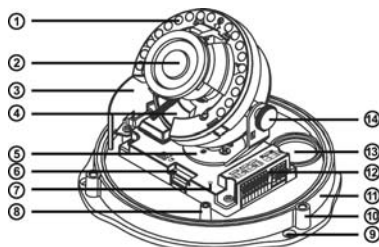
① 側面ケーブルの進入穴

② 安全線

③ ドームカバー固定ネジ



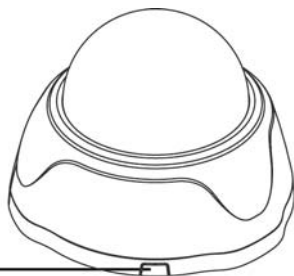
シールドケース



本体

- | | | |
|------------------|------------|-----------------|
| ① IR LED | ② レンズ | ③ ヒーター |
| ④ レンズ回転台 | ⑤ 水平回転台 | ⑥ SDメモリーカードスロット |
| ⑦ ファクトリーリセットスイッチ | ⑧ 安全線固定ネジ穴 | ⑨ 壁/天井設置穴 |
| ⑩ ドームカバー固定ネジ穴 | ⑪ 下段カバー | ⑫ 入出力装置ポート |
| ⑬ ケーブルの進入穴 | ⑭ 垂直回転調節ネジ | |

プラスチックドームモデル

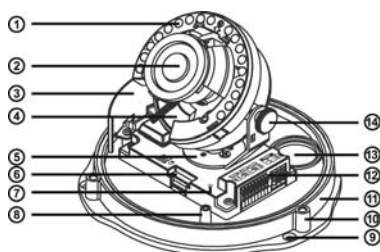


ドームカバー



シールドケース

- ① 側面ケーブルの進入穴



- ① IR LED
- ② レンズ
- ③ レンズ回転台
- ④ 水平回転台
- ⑤ SDメモリーカードスロット
- ⑥ ファクトリーリセットスイッチ
- ⑦ 下段カバー
- ⑧ 入出力装置ポート
- ⑨ ケーブルの進入穴
- ⑩ 垂直回転調節ネジ

本体

- 側面ケーブルの進入穴、ケーブルの進入穴：電源、デバイスの電線またはネットワークケーブルを外に接続します。
- 安全線、安全線固定ネジ穴：製品と一緒に提供されるネジを利用して安全線をドームカバーおよび下段カバーに固定します。安全線はドームカバーをカメラの本体から分離する時、ドームカバーが落下する事を防止します。
- ドームカバー固定ネジ、ドームカバー固定ネジ穴：ドームカバーを本体に固定します。
- シールドケース：内部を遮り、赤外線が反射される事を防止します(IR LED未対応モデルのみ該当)。
- IR LED：IR LED中央にあるセンサーが照度を検知し、夜または低照度の環境でIR LEDが点灯します(IR LED対応モデルのみ該当)。
- レンズ：可変焦点自動絞りレンズが装着されています。
- ヒーター：内蔵ヒーター対応で零下の気温でも動作します(ヒーター対応モデルのみ該当)。12 VDC電源でのみ動作します。
- レンズ回転台：レンズ回転台を右回りまたは左回り方向に回し、レンズの回転角度を調節します。
- 水平回転台：レンズの水平角度を調節します。
- SDメモリーカードスロット：マイクロSDメモリーカード(SanDiskまたはTranscendメーカーのSLC (Single Level Cell)またはMLC (Multi Level Cell)タイプの製品推奨)を挿入します。
- ファクトリーリセットスイッチ：設定値を工場出荷時の初期設定に戻す場合にのみ使います。詳しくは、下段の“ファクトリーリセット”を参照して下さい。
- 壁/天井設置穴：カメラを壁または天井に設置するためのネジを締めます。
- 下段カバー：カメラを壁または天井に設置できます。
- 入出力装置ポート：入出力装置を接続します。下記を参照してください。
- 垂直回転調節ネジ：レンズの傾斜角度を固定します。



システム動作中にはSDカードを取り除かないでください。システム動作中にSDカードを取り除くとシステムが正しく動作しないことがあり、SDカードに保存された録画データが損傷することがあります。



SDメモリーカードは寿命のある消耗品です。使用回数が増えるほどメモリーセクターが損傷し、録画できなかつたりデータが損失することがあります。SDメモリーカードを定期的に点検し、必要な場合は交換してください。

ファクトリーリセット

ファクトリーリセットスイッチは、カメラを工場出荷時の初期設定に戻す場合にのみ使われます。

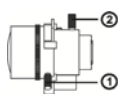


ファクトリーリセットを行う場合、ユーザーが指定したカメラダーのすべての設定値が失われます。

本装置から電源アダプターを外します → ファクトリーリセットスイッチを押します → スイッチを押した状態で、電源アダプターを再び接続します → 装置の電源がONになり電源LEDが点滅すると、凡そ5秒後に押していたスイッチから手放します → 本装置が初期化されファクトリーリセットを完了すると、システムが再起動します。これでカメラのすべての設定は工場出荷時の初期設定状態になります。

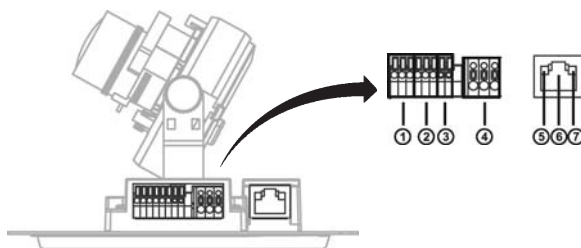
本装置がONになった状態で、ファクトリーリセットスイッチを短く押してから放すことでファクトリーリセットを行ったり、遠隔から“INIT”プログラムを実行してファクトリーリセットを行うこともできます。ファクトリーリセットが完了すると、システムが再起動します。遠隔ファクトリーリセットに関する詳しい内容は、INITユーザーマニュアルを参照して下さい。

レンズ



- ① 焦点レバー: レバーを右回りまたは左回り方向に回し、焦点を調節します。焦点が調節されると固定ネジを右回りに回して焦点を固定させます。
- ② 拡大レバー: レバーを右回りまたは左回り方向に回し、ズームを調節します。ズームが調節されると固定ネジを右回りに回してズームを固定させます。モデルによってレバーの長さが異なることがあります。

前面パネル



- | | | | |
|-------------|-------------|---------|------|
| ① アラーム入/出力 | ② オーディオ入/出力 | ③ ビデオ出力 | ④ 電源 |
| ⑤ ネットワークLED | ⑥ ネットワークポート | ⑦ 電源LED | |

- Alarm(アラーム)
 - OUT(出力): アラーム・アウト装置の機械的、または電気的スイッチをアラーム出力とGND(接地)コネクタに接続します(使用可能なタイプ: アクティブロー(オープンコレクタ出力)、電気的仕様: 5VDCで30mAシンク電流)。

- IN(入力): アラーム・イン装置を接続します。(動作方法: NC(Normally Closed)、またはNO (Normally Open)タイプ選択可) → 機械的、または電氣的スイッチをアラーム入力とGND(接地)コネクタに接続します。アラーム入力範囲は0~5Vです。電氣的スイッチによるアラーム入力が感知されるためには、NCの場合4.3V以上の電圧が、NOの場合0.3V以下の電圧が少なくとも0.5秒の間保持される必要があります。
- Audio(オーディオ)
 - OUT(出力): アンプに接続します(ラインアウト)。本装置はオーディオ出力アンプを含めないため、ユーザーはアンプとスピーカーを準備しなければなりません。
 - IN(入力): オーディオソースを接続します(ラインイン)。
- Video(ビデオ)
 - CVBS(ビデオ出力)、GND(接地): ケーブルの信号線とアースを本デバイスに接続し、ケーブルの他のコネクタをモニタに接続します。映像監視用ではないプレビュー用に使用してください。遠隔設定(“システム” - “一般”メニュー)で映像出力のための映像信号を設定します(NTSCまたはPAL)。
- Power(電源)
 - DC12V +/-: 電源コネクタのネジを取ってから電源の電線2本を接続します。電線接続時、電源の+/-を区分して接続します。電源が印加されると起動が始まります。
 - FGND(フレーム接地): 接地します。
- ネットワークLED: ネットワーク接続状態を表示します。詳しくは“付録 - LED表示”を参照して下さい。遠隔設定時“システム一般”の設定で“状態LED”の項目が選択されていない場合、状態と関係なくLEDが消灯されます。
- ネットワークポート: RJ-45コネクタを持つCat5ケーブルを接続します。PoEスイッチを使う場合、イーサネットケーブルを通じてネットワークカメラに電源を供給することができます。PoEスイッチについては、PoEスイッチメーカーのユーザーマニュアルを参照してください。本ネットワークカメラはネットワークを通じてPCと接続して設定、管理およびアップグレードすることができ、遠隔から映像を監視することができます。ネットワーク接続設定については、INITユーザーマニュアルを参照して下さい。
- 電源LED: システムの運営状態を表示します。詳しくは“付録 - LED表示”を参照して下さい。遠隔設定時“システム一般”の設定で“状態LED”の項目が選択されていない場合、状態と関係なくLEDが消灯されます。

- ☞ アラーム入出力、オーディオ入出力、ビデオ出力および電源コネクタを接続するために、ボタンを押したまま電線をボタンの下の穴に挿入します。正しく接続されているかを確認するために、ボタンを放してから電線を引っ張って抜けないかを確認します。電線を抜くには、電線上のボタンを押したまま電線を外に引きます。
- ☞ 設置地域内の法規が映像及びオーディオ監視を許諾するかどうかを調査することは使用者の責任です。



電源のフレーム接地端子を必ず接地してからご使用ください。



12VDC電源からPoE電源に切り替える場合、電源アダプターが取り外されてからシステムが再起動します。



電源コードは足に引っかからないように配線し、コードが家具などによって傷つかないようにご注意ください。電源コードをじゅうたんやカーペットの下に設置せず、一つのコンセントにあまり多くの装置を差して過負荷が生じないようにご注意ください。

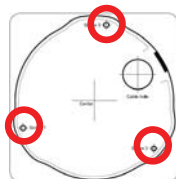
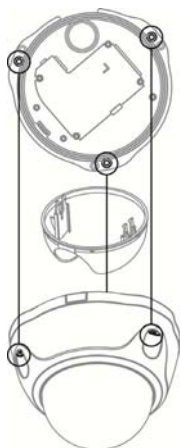


電磁波を抑制するためカメラ側ネットワークケーブルの先端部に製品と一緒に提供されるコア(Laird Technologiesメーカーの28A2024-0A2モデル)を2回巻いてご使用ください。

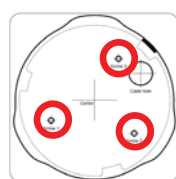
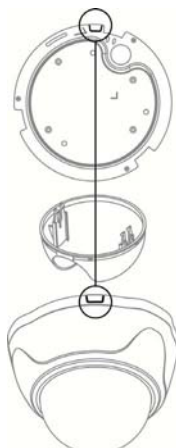
設置

半月ドームモデル

プラスチックドームモデル



ガイドパターン



ガイドパターン

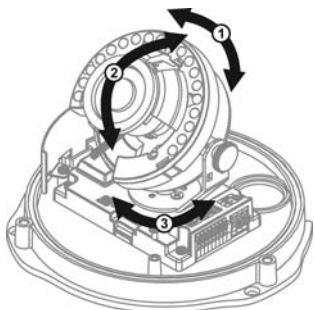
1. カメラと一緒に提供される設置用ネジを利用して、下段カバーを壁または天井に固定します。カメラと一緒に提供されるガイドパターンを利用して、ネジの間隔を確認できます。
2. 外部装置及びネットワークを接続します。
3. 映像に適切な角度にレンズを調節します。詳しい内容は下段の“角度調節”部分をご参考ください。
4. 焦点およびズームレバーを利用し、焦点とズームを調節します。
5. シールドケースを垂直回転調節ネジに差し込み固定します(IR LED未対応モデルのみ該当)。
6. 半月ドームモデルの場合、カメラと一緒に提供される固定ネジを利用してドームカバーを下段カバーに固定します。プラスチックドームモデルの場合、下段カバーのケーブルの進入穴の横に表示された地点とドームカバーの側面ケーブルの進入穴を合わせてから、ドームカバーを時計回りに回してドームカバーを下段カバーに固定します。
7. 電源を印加します。



壁または天井の補強工事が必要かどうか確認してください。壁または天井がカメラを支えられるだけしっかりしていないと、カメラが落ちることがあります。

角度調節

レンズの3軸の回転が支援されます。

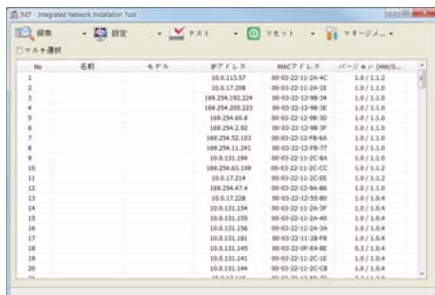


- ① 回転回転: レンズの回転角度を調節します。回転台を時計回りまたは反時計回りに動かします。
- ② 垂直回転: レンズの傾斜角度を調節します。ネジを緩くし、レンズを上下に動かしてからネジを固定します。
- ③ 水平回転: レンズの水平角度を調節します。水平回転台を右回りまたは左回り方向に動かします。

インストールプログラム(INIT)の実行

製品と共に提供される“INIT”(統合ネットワークインストールツール)プログラムは、製品運営のための遠隔ソフトウェアです。ネットワーク接続を通じて遠隔地から製品に接続して製品の設定を変更したり管理できます。次のようにINITプログラムを実行します。

1. INITプログラムのCDを準備します。
2. “INIT”フォルダ内の“INIT.exe”ファイルをダブルクリックしてINITプログラムを実行します。
3. 言語オプションが表示されるので、言語オプションを選択します。“Select language when starting”を選択すると、プログラム起動時に使用する言語を選択します。“Always start using the language below”を選択してリストで使用する言語を選択すると、常に選択された言語でプログラムを起動します。プログラムを実行してから言語オプションを変更することもできます。
4. 次のメイン画面が表示されると、製品に接続して設定を変更できます。“マルチ選択”オプションを選択すると、一度に複数の製品を選択して設定を一括変更できます(同一モデルに限る)。各機能に関する詳しい内容は、CDに付いているINITユーザーマニュアルを参照してください。



INITプログラムを実行している間は、PCのIPアドレスを手動で変更しないで下さい。手動で変更する場合、製品とPC間のネットワーク接続が切れることがあります。

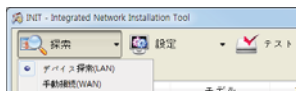
この製品はOpenSSLツールキットを利用するためにOpenSSLプロジェクトによって開発されたソフトウェアを含む(<http://www.openssl.org/>)。

ネットワークカメラの接続

ローカルPCで接続

ネットワークカメラがDHCPサーバからIPアドレスなどのネットワーク接続情報を自動的に割当てられるように設定されています(DHCPサーバがない場合、IPアドレスは"169.254.x.x"に設定)。従って、追加設定なしにネットワークカメラに接続できます。

1. ローカルPCでINITプログラムを実行します。
2. "検索"アイコンをクリックしてから"デバイス検索(LAN)"を選択します。



3. ローカルネットワーク内にあるネットワークカメラがリストに表示されます。接続するネットワークカメラのMACアドレスを確認します。MACアドレスはネットワークカメラに貼ってあるステッカーで確認できます。

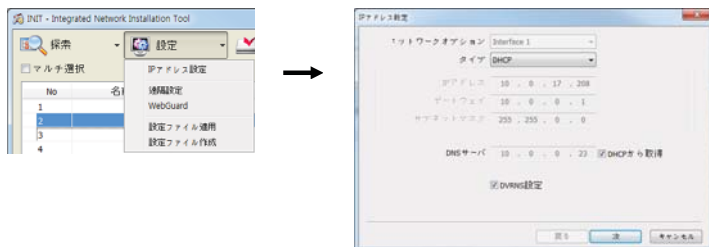




4. ネットワークカメラのリストで接続するネットワークカメラのIPアドレスを確認します。
5. ローカルPCで遠隔プログラムを実行した後、上で確認したIPアドレスでネットワークカメラを遠隔プログラムに登録します。

遠隔PCで接続

遠隔PCで接続するには、まずローカルPCでネットワークカメラに接続し、ネットワークカメラのネットワーク接続情報を修正しなければなりません。

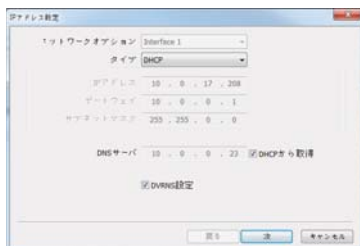
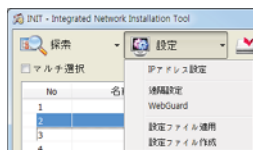
1. 上の"ローカルPCで接続"の説明のうち、1番～3番までの説明を参照して接続するネットワークカメラを検索します。
2. リストで接続するネットワークカメラを選択した後、"設定"アイコンをクリックします。"IPアドレス設定"を選択してから次のように設定します。




- タイプ: ネットワーク接続の方法によって“手動設定”、“ADSL (with PPPoE)”または“DHCP”を選択します。“手動設定”を選択した場合、IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク情報はネットワーク管理者またはインターネットサービス提供会社にお問い合わせください。“ADSL”を選択した場合は、ADSL接続IDとパスワード入力が要求されます。
 - DNSサーバ: DNSサーバのIPアドレスを入力します。“種類”で“DHCP”を選択した場合“DHCPから取得”を選択するとDHCPサーバからDNSサーバのIPアドレスを自動に受け取ります。
 - DVRNS設定: 項目をチェックします。項目をチェックすると、下段の“完了”ボタンが“次へ”ボタンに変わります。“次へ”ボタンをクリックしてから“DVRNS使用”項目をチェックします。続く“DVRNS機能設定”部分を参照してDVRNS機能を設定します。
3. IPルータとネットワークカメラにUPnP機能を設定します。IPルータのUPnP機能の設定方法は、IPルータのユーザーマニュアルを参照してください。ネットワークカメラのUPnP機能の設定方法は、続く“ネットワークカメラのUPnP機能設定”部分を参照してください。
-  IPルータがUPnP機能に対応しない場合、ポート開放(ポートフォワーディング)を設定しなければなりません。また、IPルータにネットワークカメラが2台以上接続された場合、ネットワークカメラのポート番号をそれぞれ異なる設定にしなければなりません。IPルータのポート開放設定方法は、IPルータのユーザーマニュアルを参照してください。ネットワークカメラのポート番号変更方法は、続く“ネットワークカメラのUPnP機能設定”の説明のうち、1番～3番までの説明を参照してください。
4. 遠隔PCで遠隔プログラムを実行した後、上で設定したDVRNSサーバに登録された名前でネットワークカメラを遠隔プログラムに登録します。
-  ルータまたはIPルータのファイアウォールが解除されているかどうか確認してください。ファイアウォールが設定されている場合、ネットワークカメラに接続されないことがあります。ファイアウォールの解除方法に関する詳しい内容は、ネットワーク管理者に問い合わせるか、IPルータのユーザーマニュアルを参照してください。


DVRNS機能の設定

ローカルPCでINITプログラム実行 → リストでネットワークカメラ選択 → “設定”アイコンをクリック → “IPアドレス設定”選択 → ネットワーク接続情報を設定した後“DVRNS設定”項目をチェック → “次へ”ボタンをクリック → “DVRNS使用”項目をチェック → DVRNSサーバ情報入力



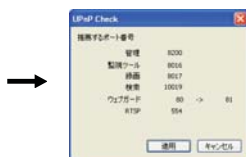
- DVRNSサーバ: DVRNSサーバのIPアドレス、またはドメイン名を入力します。
- ポート: DVRNSサーバのポート番号を入力します。
- IPルータ(NAT)使用中: ネットワークカメラがIPルータに接続されている場合、項目をチェックします。
- DVRネーム: DVRNSサーバに登録するネットワークカメラ名を入力します。“確認”をクリックして入力した名前が使用可能であることを確認します。

 本製品は、DVRNS (DVRネームサービス)機能に対応します。DVRNS機能を使用する場合、動的IPを使うネットワークカメラに接続する度に変わるIPアドレスの代わりに固有のネットワークカメラの名前をDVRNSサーバに登録し、その名前で当該ネットワークカメラに接続できるようにする機能です。本機能を使用するためには、ネットワークカメラ名をDVRNSサーバに登録しなければなりません。

 DVRNSサーバのアドレスやポート番号は、製品の購入先にお問い合わせください。

ネットワークカメラUPnP機能の設定

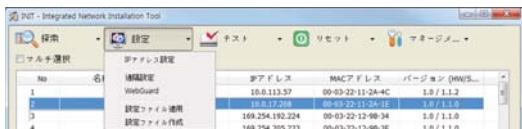
1. ローカルPCでINETプログラムを実行した後、ネットワークカメラを検索します(“ローカルPCで接続”部分の説明を参照)。
2. リストでネットワークカメラを選択した後、“設定”アイコンをクリックします。
3. “遠隔設定”を選択した後、左側メニューで“ネットワーク”-“ポート/QoS”を選択します。
4. 下段の“UPnP使用”項目をチェックした後、“確認”ボタンをクリックします。ネットワークカメラが現在のポート設定を検査します。



現在のポート番号が全て使える場合、成功のメッセージが出て、使えないポート番号がある場合、以下のように推薦ポートをお知らせします → “適用”ボタンをクリックすると推薦ポート番号を設定します。

ネットワークカメラの設定

INITプログラムを実行します → デバイスリストでネットワークカメラをクリックします → メイン画面で“設定”アイコンをクリックします → “設定”メニューで“遠隔設定”を選択します。



“遠隔設定”画面が表示されるとネットワークカメラの設定を変更することができます。各設定に関する詳しい内容は、CDIに付いているユーザーマニュアルを参照してください。



監視

遠隔プログラム(RASモバイル、ウェブガード、iNEX Basic)を利用して、ネットワークカメラの映像を監視します。

- RASモバイル: Android及びiOS基盤のモバイルデバイスにおける監視プログラム
- ウェブガード: ウェブ監視プログラム
- iNEX Basic: 監視、録画、再生プログラム

各プログラムに関する詳しい内容は、CDに付いているユーザーマニュアルを参照してください。

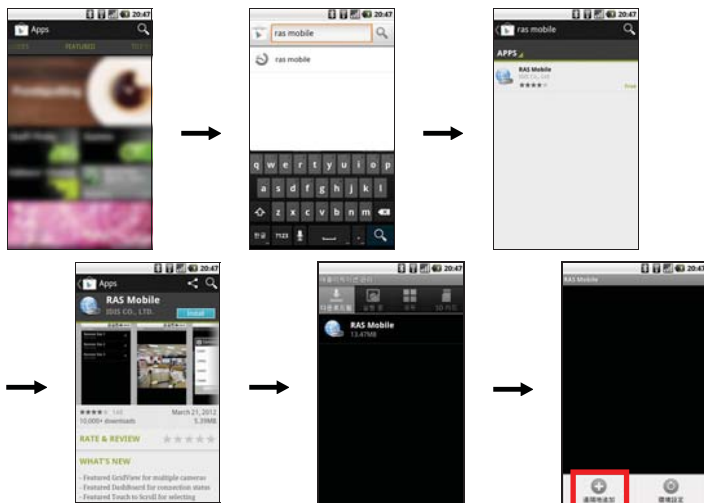
RASモバイル



このプログラムは多量のデータを使います。データ料金はユーザーの負担になりますので、データ料金に関する詳しい内容ご加入の通信事業者にお問い合わせください。

Android基盤のモバイル機器

1. モバイル機器でAndroid “Playストア” (Google Play)アプリケーションを実行します。
2. “Playストア”(Google Play)のアプリケーションの検索窓で“RAS Mobile”を入力します。
3. RASモバイルソフトをインストールしてからソフトを実行します。
4. モバイル機器のメニューボタンを押すと初期メニューが現れます。



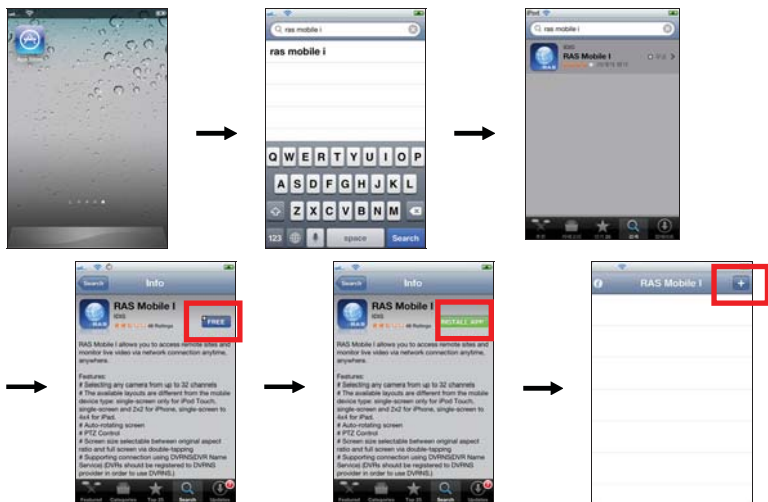
5. “遠隔地 追加”ボタンを押し、デバイス(ネットワークカメラ)の情報を入力して、デバイスを登録します。



- 説明: RASモバイルソフトで使用するデバイスの名前を入力します。
- DVRNS使用: デバイスがDVRNS機能を使用する場合は、“DVRNS使用”を選択します。DVRNSサーバー情報は初期メニューで“環境設定”ボタンを押して設定することができます。
- アドレス、監視ポート、検索ポート、オーディオポート: デバイスのIPアドレスおよび監視ポート番号を入力します。デバイスがDVRNS機能を使用する場合は、“DVRNS使用”の項目が選択されているか確認してからデバイスのIPアドレスの代わりに、DVRNSサーバーに登録されたデバイス名前を入力します。入力した名はデバイスのDVRNSの設定で登録したデバイス名と等しくなければなりません。
- ユーザーID、パスワード: デバイスログイン時使われるユーザーIDおよびパスワードを入力します(使用者IDの基本値は“admin”、パスワードの初期値はありません)。

iOS基盤のモバイル機器

1. モバイル機器で“App Store” (🍏)アプリケーションを実行します。
2. “App Store”のアプリケーションの検索窓で“RAS Mobile I”を入力します。
3. RASモバイルソフトをインストールしてからソフトを実行します。



4. ボタンを押し、デバイス(ネットワークカメラ)の情報を入力して、デバイスを登録します。



- 名前 (Name) : RASモバイルソフトで使用するデバイスの名前を入力します。
- 遠隔支店の接続情報 (Connection Info): デバイスのIPアドレスおよびポート番号を入力します。デバイスがDVRNS機能を使用する場合は、“DVRNS”オプションを有効にし、デバイスのIPアドレスの代わりに、DVRNSサーバーに登録されたデバイス名前を入力します。入力した名はデバイスのDVRNSの設定で登録したデバイス名と等しくしなければなりません。
- ログイン(Login Info): デバイスログイン時使われるユーザIDおよびパスワードを入力します(使用者IDの基本値は“admin”、パスワードの初期値はありません)。

ウェブガード

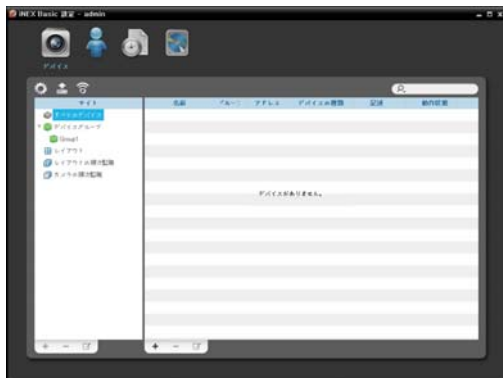
1. PCでインターネットエクスプローラを実行してからアドレス入力欄へネットワークカメラのIPアドレスおよびウェブガード接続ポート番号または、DVRNSサーバアドレスおよびDVRNSサーバに登録されたカメラ名を入力します。例えば、Pアドレスが“10.0.127.1”、ウェブガード接続ポート番号が“80”の場合、“http://10.0.127.1:80”または、ネットワークカメラがDVRNS機能を使用し、DVRNSサーバに登録されたカメラ名は“camera1”の場合、http://dvnames.net:camera1を入力します。
2. ネットワークカメラログイン時に使用される使用者IDのおよびパスワードを入力します(使用者IDの基本値は“admin”、パスワードの初期値はありません)。



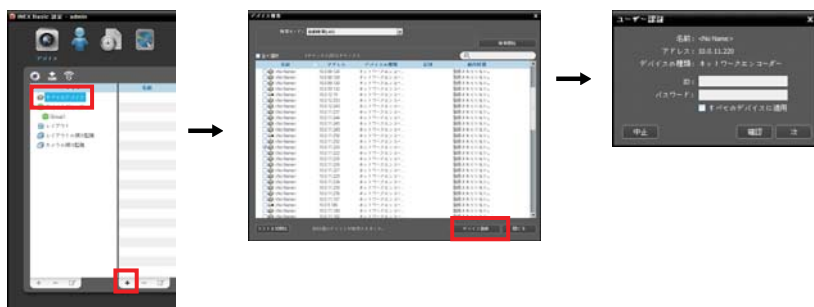
- ① ログアウト
- ② バージョン情報
- ③ ログイン情報
- ④ 全体画面
- ⑤ カメラ番号
- ⑥ 画質調節
- ⑦ 設定
- ⑧ 映像保存
- ⑨ 遠隔設定
- ⑩ イベント状態ウィンドウ
- ⑪ 監視画面

録画及び再生

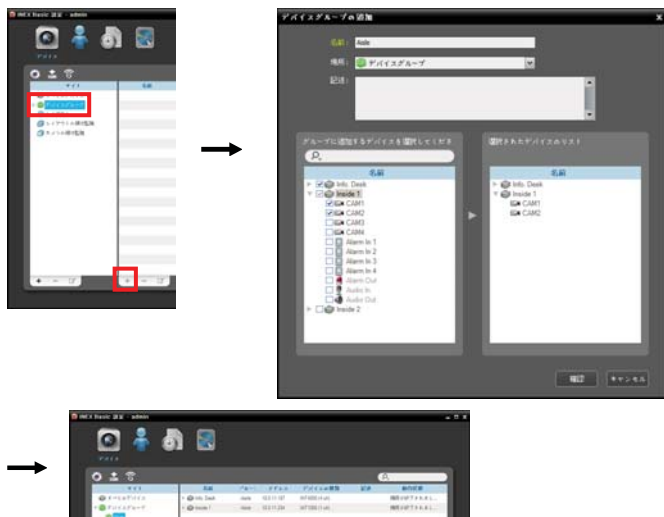
1. インストールCDを準備します。
2. PCでiNEX Basicインストールファイルを実行します。詳しい内容は、CDIに付いているユーザーマニュアルを参照してください。
3. 次のようにiNEX Basicプログラムを実行します: PCの“スタート”メニュー → “iNEX Basic”をクリックした後、“iNEX Basic Setup”をクリック → ログイン情報を入力 (使用者IDの基本値は“admin”、パスワードの初期値は“12345678”)



4. 次のように録画しようとするデバイスを登録します。“デバイス”メニューを選択 → “サイト”パネルで“すべてのデバイス”をクリックした後、右のサイトリストのパネルの下段にある+ボタンをクリック → 検索モードを選択した後、デバイスを検索 → デバイスの名前の横にあるチェックボックスを選択した後、下段の“デバイス登録”ボタンをクリック → デバイスで設定した 情報 を 入力



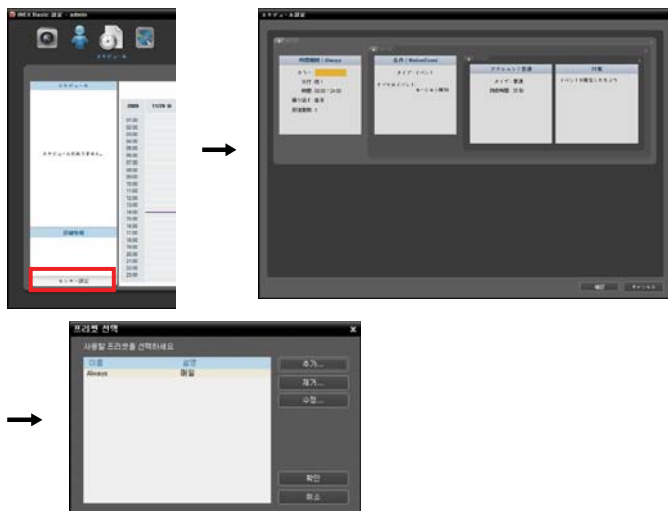
5. 次のようにデバイスをデバイスグループに追加します: → “サイト”パネルで“デバイスグループ”をクリックした後、“サイト”パネルの下段にある+ボタンをクリック → 登録されたデバイスのリスト → デバイスを選択 → 選択したデバイスがデバイスグループに表示されます。



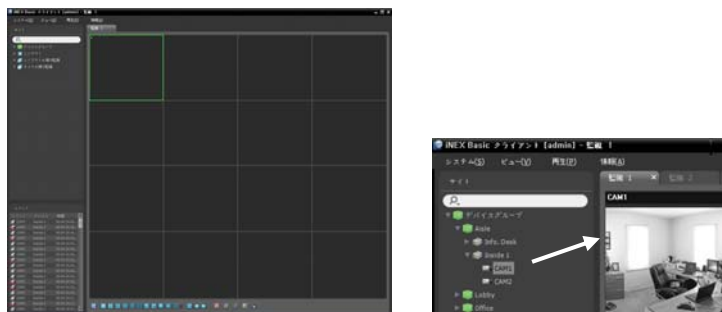
6. 次のように録画のためのストレージを割り当てます: "ストレージ"メニュー → 下段にある+ボタンをクリック → リストでハードディスクドライブを選択した後、下段の"追加"ボタンをクリック → ストレージを割り当てます。



7. 次のように録画スケジュールを設定します: "スケジュール"メニュー → 下段の"センサー設定"ボタンをクリック。"センサー設定"画面が表示されて、現在の設定値を示すスケジュール画面が表示されます → 各スケジュール画面の任意の位置でダブルクリックすると、プリセットの設定画面が表示されます → プリセットリストで希望するプリセットを選択するか新しいプリセットを登録します。



8. 監視または再生のために次のようにiNEX Basicプログラムを実行します: PCの“スタート”メニュー → “iNEX Basic”をクリックした後、“iNEX Basic Client”をクリック → ログイン情報を入力(使用者IDの基本値は“admin”、パスワードの初期値は“12345678”) → 画面で“監視”または“再生”タブ選択 → “サイド”パネルでデバイスをクリックした後、マウスを利用してスクリーンに切り取り貼り付け(ドラッグ&ドロップ) → デバイスの映像が画面に表示されます。



詳しい内容は、CDIに付いているユーザーマニュアルを参照してください。